

郵政民営化委員会（第3回）議事要旨

日時：平成18年4月12日（水） 15：25 ～ 16：07

場所：虎ノ門第10森ビル5階 郵政民営化委員会会議室

（委員5名全員出席）

○ 前々回、前回に引き続き、準備期間中の日本郵政公社の業務の特例（ANA & JPEXプレスへの出資）に関する認可申請について審議。本日は、当委員会としての意見書案（資料）をベースに議論した結果、原案どおり、意見書を決定し、本日、総務大臣に対し提出することとした。なお、委員からは、

- ・ 国際物流の全体像を、早く明らかにしてほしい。
- ・ 国際物流のノウハウを着実に蓄積していただきたい。
- ・ 出資会社のコンプライアンスについては、郵政公社は全力を挙げるとともに、総務省もしっかりチェックしていただきたい。
- ・ 出資会社の状況について、当初の計画どおり進捗しているか、定期的にチェックすることが大事。当委員会がフォローするに足る資料を出していただきたい。
- ・ チェックの際には、郵便のユニバーサルサービス維持に悪影響を及ぼしていないかとの観点が必要。当初計画との乖離を含めて定期的に報告して欲しい。
- ・ 当初の計画に拘るのでなく、場合によっては撤退することも視野に入れていただきたい。当初の計画どおりにやったからうまくいったということはあまりなく、戦略を柔軟に変えたものがうまくいっている。一旦決めたからといって、がんじがらめにならないでほしい。

等の意見が出された。

○ 今後の予定について、5月半ばに、郵便局視察を予定していることを確認。

（注）以上は事務局の責任で取りまとめたものであり、速報のため事後修正の可能性があることに御留意下さい。また、詳細については追って公表される議事録をご覧ください。